

恵庭市総合計画審議会専門部会 会議録

会議名	恵庭市総合計画審議会（第1回）専門部会 / 都市環境部会	
日時	平成17年2月22日（火）午後2時～午後4時	
会場	市役所（3階）301・302会議室	
出席者	委員～玉川委員、長谷川委員、神田委員、吉田委員、浅野委員、池永委員 （欠席委員1名） 市側～斉藤（企画財政部次長）菅原（企画調整課長）吉田（企画調整課主査） 佐々木（企画調整課主査）広田（企画調整課主査） 所管部～奥山（建設部次長）佐藤（生活環境部次長）佐々木（水道部次長） 高橋（消防本部次長）寺内（市街地整備室長）	
記録	氏名	企画財政部企画調整課 主任 吉田 信子

1.開会

2.審議事項

- (1) 総合計画策定に向けた基本事項の調査・検討について
- (2) その他

3.その他

4.閉会



○ 会議の概要

（玉川部会長） 部会長の玉川です。よろしくお願ひいたします。今、事務局から説明のあったとおり、この専門部会では都市環境、生活環境の分野を扱うこととなります。市民の皆さんの生活に身近に関わる分野でもあり、内容が広範にわたっています。大変な作業になりますがよろしくお願ひいたします。それでは、池永委員から順に、日頃、みさんが感じている中から意見を述べていただきたいと思います。

（池永委員） 景観について、特に空地の景観についてふれてみたいと思います。例えば、盤尻のスキー場は夏場に雑草が繁茂して環境が良いとはいえません。個人的にシーニックバイウエーの活動にも携わっていますが、冬だけ利用するのではなく、ここに花を植えて育てていければ、市民にとっても、また、車で通りかかる人にとっても花を見て楽しむのももらえるのではないかと考えています。土地利用の面からも効果的です。それと、都市環境として、道路の問題があります。今、バリアフリーについて関心が高いですが、結構、道路がでこぼこしている所が見受けられます。見直していく必要があると思います。昨年、恵み野西4丁目の空地約700坪に花畑を作りました。以前は、雑草が生えているだけの土地でしたが、ここは国道から恵み野に入って来る人たちが最初に目にする場所でもあることから、花畑を作ってみようということになりました。実は、この土地は市有地で調べ

てみると児童福祉課が管理している土地でした。個人や商売をしている人には貸さないとのお話しであったことから、最終的に、花いっぱい文化協会にお願いして借りることになりました。花の苗はリサイクルできる古新聞や雑誌などを集めて得たお金で購入しました。花を植える時には、地域のお年寄りが手伝いに来ていただくなど、多くの方の協力があって実現しました。それと、道路の歩道にある植樹帯について、草が伸び放題の所があります。定期的に市が草の除去をしてくれていますが、市全体を順番に除草しているため、追いつかないのが現状。ここに花を植えれば景観も良くなるし住みやすい街になると思います。私たちが作った花畑には市からの補助金はありませんが、道路の植樹帯に花を植える場合は、市に申請すれば花苗の補助金が出るという話もあります。植樹帯をこんなふうを活用することも必要なのではないのでしょうか。

(長谷川委員) これまでの総合計画を見ると、5年ないし10年のスパンでどんな将来像を描きますかというキャッチフレーズがあり、目標があって、これを具体化するため、人と金をマネジメントしながら目標達成に向けて全エネルギーを投入していくという考え方でつくられています。個人的には、前回のキャッチフレーズについて、良い言葉ですが、恵庭市民にとって、何かフィットしていないように思えるわけです。新しい計画には、恵庭で生まれ育ち恵庭に住んでいて良かった、幸せだった、と思えるような将来像とそれを意識したキャッチフレーズを考えていく必要があると思っています。今、恵庭の花が、国の刊行物「国民生活白書」で紹介されるほど全国的に誇れる活動になっています。この活動をみんながさらに伸ばしていくというのも大切です。昨日、JR恵庭駅のバリアフリー整備が完成したことから駅を見てきました。その際、市長は「これからもすべての人に優しい街づくりに取り組んでいきたい」と、挨拶されました。優しい街づくりに向けて、市民のそれぞれの段階で、具体的なイメージが持てるようになれば、もっともっとエネルギーを統合させるような力になるのではないかと思います。私は、恵庭岳が見えて、川があって、列車の音が聞こえる恵庭に憧れて住むことに決めました。だから大変愛着があります。地名の恵庭も魅力的です。恵庭は土地の条件も良いわけですから、恵庭の良さをもっとPRして、人が来て住んでもらえるようにするために、我々みんなで論議していくことも大事です。もう一つ、本州からたくさんの方が北海道(千歳空港)に来ますが、恵庭を素通りして札幌に行ってしまう。ぜひ、この人たちに立ち寄ってもらうことを考える必要がある。老人クラブで活動していますが、全道の老人クラブの大会を恵庭で開催して欲しいと頼まれたこともあります。スケールの大きな行事を招致できれば、恵庭のまちにお金が落ちるのではないのでしょうか。また、計画されている「道と川の駅」も恵庭の魅力を全道や全国で紹介できる場になるのではないかと期待しています。今、少し物足りないと感じているのが、恵庭駅前の街並み、それから大学や専門学校などがあるんだから、もっと文化面、学術面で積極的に協力できる体制づくりが必要。また、カリンバ遺跡は、恵庭だけではなく北海道の大事な文化遺産、これを後世に長く伝えていくための取組が必要になります。

(神田委員) ゴミの問題について、盤尻の埋立場も一杯になっていると聞いています。今後のことを考えると心配になります。水について、最近、桂沢湖から取っている水道水に何かか混入していたとの話が報道されていました。検査の結果、今は大丈夫と言うことで

したが、例えば、恵庭の水が不足し夕張シューパロダムからということになれば、安全な水が来るのだろうか心配になりました。それから、駅周辺の開発ですが、JR恵庭駅のバリアフリー化で、エレベーターやエスカレーターが整備され良かったと思います。道路について、南26号ですが、千歳から札幌に向かって大きく蛇行して道が作られました。とても不評です。みなさんとも利用しづらいし分かりにくいと言っています。雪が降ってからおさら危ない状況にあります。除雪と排雪について、今年は雪が多いこともありますが、道路が圧雪状態になっていて、マンホールがある場所は穴があいたように段差が生じています。車に乗っていても危ないなと感じています。ゴミの出し方について、ほとんどのご家庭ではネットでゴミ袋を覆って道路の歩道に出していますが、冬場になるとネットをしない家庭もあるようです。真冬でもカラスはゴミの収集日に合わせて移動し悪さをしています。冬といえどもゴミを出すときは気をつけたいものです。

(浅野委員) 恵庭に住んで2年目になる新住民です。電話で住所を聞かれた時、いつも私は「恵まれた庭」の「黄金のまち」と話します。相手の人は「素晴らしい所に住んでいますね」と言います。私自身も、本当に素晴らしい所だと思っています。最近、恵庭の事を良く知りたいと思うようになりました。すこしづつ恵庭に馴染んでいこうと思い、恵庭国際交流市民の会の活動にも参加しています。最初に公園について、駅側から北海道文教大学に向かう左手に、ハーブの庭や草花のコーナーもある大きな公園があります。聞くところによれば、昔、お墓があったということですが、テニスコートもあつたりして素晴らしい公園です。残念なのは、園内の下草が伸びて、樹木の枝も地面近くまで伸び、目隠し状態になっています。子どもたちもたくさん遊んでいますし、安全面で心配になる時があります。常に見晴らしの良い状態で管理できないかなと感じています。恵庭も20年後は、3人に1人がお年寄りになる高齢社会を迎えます。公園は地域の子もたちと老人たちとのふれあいの場所としてますます必要になると感じています。花に関して、恵み野を中心に「花のまち」が有名ですね。私も前から知っていました。本当に奇麗で素敵な庭の家庭がいっぱいあります。せつかく花のまち恵庭として知られているわけですから、冬季間も花に関わるような何かを考えていく必要があると感じています。そうなれば、1年中、恵庭の「売り」として花が生きてくると思います。環境について、今、CO2が問題になっていますが、恵庭は樹木が多いまちだと感じています。例えば、黄金町のJR線路から総合体育館に向かう道路に沿って見事な桜並木があります。花も植えられていて素敵な場所です。市外に少しこういうところをPRしても良いのではないかな。そうなれば、これを目当てに他から人が来て、市内でお金を落としてくれるかも知れません。少し休息したりゆっくり花を楽しんだり出来るよう、道沿いにベンチでも置いてみてはどうか思ったりしています。ゴミのことについて、恵庭に来て感激したのはゴミ収集。一軒一軒収集していただけることでした。集めて歩く方は大変だと思いますが、自分の家のゴミだと、出す人もきちんと管理します。前のまちでは何軒かでまとめて置いていました。ネットをかぶしていても他の方が置いていきます。投げ捨てたりしていくこともありました。勝手なお願いですが恵庭の方式をこれからも続けて欲しい。それと先ほど除雪の話がありましたが、私の住んでいる地域の除雪は上手くやっけていただいています。ただ、神田委員さんが話されていましたが、街の中に行くと排水溝のところに段差があります。少し深く雪を削ってくれるとあ

りがたいですね。最後に、長谷川委員さんが話されたように、本州の人であったり、道内の人であったり、外国からの人であったり、どんどん恵庭のまちに来てくれる雰囲気のもちになればと思っています。具体的にはこれから考えていきたいと思っていますが、人と人の交流を重ね深めながら、大きな意味で平和な社会を築いていければと思っています。

(吉田委員) バリアフリーの関係で、市役所前の道路、恵庭大通の芝生の中にアスファルトで歩道を作るという計画があるようです。結構、この芝生を楽しんでいる方もいます。壊れかけたベンチもありますが、天気の良い日は休んでいる方がいたり、買い物の途中で親子づれや胡桃の実を採ったりしている姿を見受けます。芝生に新しい歩道を作るのはどうなのかなと感じています。今、北広島で自転車道路の整備が進められていますが、恵庭でも自転車や歩いて、島松や恵み野、恵庭を行ったり来たりできる道を整備したらどうかと思っています。恵庭にも、それに近いものがすでに整備されているところもあるので、少し手を加えればできるのではないかと。結構、健康のために歩いている方がいらっしやいます。市民に優しいまちづくりを進めるためにもあったら良いなと思います。個人的にまちづくり市民の会で活動しています。以前、会でゴミ問題を取り上げてみたことがありますが、ゴミの置き方も地域性があるって、恵庭市内は何軒かまとめて置いてあり、恵み野とか黄金など比較的新しい街は各家庭家の前に置いてるようです。以前、ゴミの話で、小学生が「投げたくならない環境をつくれれば良い」とか、大学生も、「投げるとまずいなと思うような綺麗なまちができれば、自然にゴミを投げなくなる」そんな話しをしていました。花の関係で、昨年「市民まちづくりワークショップ」に参加しました。会議の中で、花のまちでお客さんをお呼ぶのには「花とくらし展」を1週間以上の長期にわたって開催できたら良いのではないかという意見がありました。2日間では短いのではないかと。私も、池永委員と同じくシーニックの活動にも参加しています。以前、バスツアーで盤尻にある滝を案内しましたが、どこでも滝を見るためにはかなりの距離を歩かされますが、恵庭のようにすぐ間近で見れるような場所は珍しいと言われていました。札幌とか北広島の方々に感動していただきました。地元の人には気づかないけど凄いと思うような資源がまだまだあります。恵庭市民として、もっと自慢して取組んでいく必要があると思います。

※ 配布資料の「分野別基礎調査(概要)」に基づき、市の関係各部担当より順次説明

(生活環境部次長)～ゴミ処理関係、広域処理施設関係、エコバスの利用状況／(水道部次長)～上下水道関係／(建設部次長)～花関係、道路管理関係、除雪体制／(消防本部次長)～消防団の体制／(市街地整備室長)～交通バリアフリー事業関係

(玉川部会長) 時間となりましたので本日の専門部会を終了します。大変ごろうさまでした。

以上